

会議議事録

会議名	2021年度第2回医療事務分野教育課程編成委員会
対象学科	医療秘書科・医療事務IT科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科
開催日時	2022年2月17日(木) 14:00~16:00
場所	本校(オンライン)
出席者 (敬称略)	<p>①企業等委員：須貝和則(国立国際医療研究センター医事管理課長)、直井智之(東大和病院事務部長)、山室 靖(東京衛生病院医事課課長)、梅里良正(有識者委員) (計4名)</p> <p>②本校委員：橋本正樹(校長)、村山由美(医療秘書科学科長)、深澤由紀子(医療秘書科副学科長)、三宅かおり(医療事務IT科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科学科長)、川畑亮子(医療事務IT科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科副学科長)、江崎侑子(診療情報管理専攻科教員)、稲垣史絵(企画室)、榊原幸之(事務局長)、(計8名)</p> <p>③事務局：土屋瑠美子</p> <p style="text-align: right;">(合計13名)</p>
欠席者	なし
配付資料	資料1：2021年度第1回医療事務分野教育課程編成委員会議事録案、□資料2：2021年度第1回委員会以降の主な経過報告、資料3：2021年度主な内定先(2022年1月末時点)、□資料4：2021年度教育活動と学科運営に関する報告、□資料5：2021年度教員研修計画・実績、□資料6：2021年度後期授業アンケート結果報告、資料7①：2022年度カリキュラム案 医療秘書科、資料7②：2022年度カリキュラム案 医療事務科、資料7③：2022年度カリキュラム案 医療事務IT科、資料7④：2022年度カリキュラム案 診療情報管理科 資料7⑤：2022年度カリキュラム案 診療情報管理専攻科、資料8：学則28 実践的かつ専門的な職業教育の教育課程編成に関する細則 新旧対照表
議長	三宅かおり委員
議題等	<p>1. 校長挨拶</p> <p>橋本校長より、新型コロナウイルスの感染拡大については、第6波となる感染者の急速な増加により予断を許さない状況が続いている。</p> <p>本校の教育活動としては、1月後半からの授業は急遽原則オンラインに組み替えたが、その前までは適宜オンライン授業の日を組み込みながら原則対面授業を実施した。</p> <p>3月に卒業する2年制学科の学生たちは、コロナ禍の中で満足のいく学校生活が送れなかったことを残念に思っている。今後も新型コロナウイルスと共存しなければならない状況下で医療機関、福祉施設等に就職する学生たちには、感染防止の最新の知識を持って、それぞれの職場において職業人として自信を持って仕事に臨んでほしいと願っている。</p> <p>今後もしばらくは判断の難しい教育上の問題も発生することと思うが、委員の皆様には、医療事務分野の仕事の現在と将来に関する専門家の視点からの貴重なご意見と、本</p>

校医療事務分野の各学科の教育やカリキュラム等へのご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。

2. 2021年度第1回委員会議事録案の確認（資料1）

事務局より、前回議事録案について諮り、変更がないことが確認された。

3. 2021年度第1回委員会以降の主な経過報告（資料2、3）

資料2に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

4. 2021年度教育活動と学科運営に関する報告（資料4）

資料4に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

5. 2021年度教員研修計画・実績（資料5）

資料5に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

6. 2021年度授業アンケートに関する報告（資料6）

資料6に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

7. 2022年度生カリキュラム編等について（資料7①②③④⑤）

資料7に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

8. 今後の日程、その他

・規則の改廃について（資料8）

事務局より、教育課程編成委員会に関する細則のうち、改廃等に関わる部分について、「委員会及び校務運営委員会の議を経て校長が行う」としていたものを、委員会は外すことにしたい旨を諮り、全員異議なく、承認された。

次回日程は7月とし、事前に日程を調整したいとの説明があり、了承された。

次回のテーマ

① 2022年度学科運営の説明

② 2022年度カリキュラムと教育の実施状況報告

③ 2023年度カリキュラムと教育の進め方について

以上

2021 年度第 2 回医療事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

3. 2021 年度第 1 回委員会以降の主な経過報告（資料 2）

○榑原事務局長より、資料 2 に基づき以下の報告が行われた。（詳細は省略）

1. 学校関係者評価委員会関連
2. 学生の状況関連
 - (1) 退学の状況
 - (2) 就職内定の状況
 - (3) 2022 年度の 2 年次コース選択状況
3. 2020 年度授業アンケート
4. 2021 年度学生募集関連

※参考 2021 年度主な内定先（資料 3）

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>全学科の内定率が、医療秘書科、医療マネジメント科、診療情報管理専攻科に比べて低いのはなぜか。</p> <p>介護福祉科が低いことについて、どのように分析しているか。</p>	<p>介護福祉科がまだ数名しか内定が取れていないことが影響している。</p> <p>国家試験が 1 月末、発表が 3 月末なので、その間に内定を取る学生が多くなる。</p>

4. 2021 年度教育活動と学科運営に関する報告（資料 4）

○各学科長より、資料 4 に基づき報告が行われた。（詳細は省略）

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>コロナ前と比べて、病院からの求人状況は変化しているか。</p> <p>今回の診療報酬改定で、医師事務の人たちは点数がかなりつくので常勤での採用が増えてくると思う。診療情報管理士コースを出て、医師事務作業補助者で勤務している人は意識も高く、長続きする。その辺も考慮してカリキュラムをつくるとよい。</p> <p>医療情報技師は難易度が高いが、それを目指す人を集めるような戦略もあるかと思う。</p>	<p>細かい情報は把握していないが、職種別では医療事務の求人が良好だと聞いている。</p> <p>1 月になっても大手の病院から求人が来たり、これまでと波が変わってきているので、戦略を練るのが難しかった。</p> <p>ご意見として承った。</p>

5. 2021年度教員研修計画・実績（資料5）

○三宅学科長より、資料5に基づき以下の説明が行われた。

- ・オンラインの研修が増加したことにより、日程調整が簡単になり、参加しやすくなった。研修の幅が広がり、内容も多岐にわたっている。
- ・学会もオンライン開催が当たり前になり参加しやすくなった。反面、現地での人的交流によって得られるものや、会場の雰囲気による高揚感などがなくなることが心配される。

6. 2021年度授業アンケートに関する報告（資料6）

○村山学科長より資料6に基づき以下の説明が行われた。

- ・Webによる実施に合わせて、設問内容を大きく見直している。
- ・オンライン授業での回答率が極端に下がっている。今後重点を置いて改善していきたい。

7. 2022年度生カリキュラム編成について（資料7-①②③④⑤）

◎医療秘書科・医療事務科

○村山学科長より、資料7-①～②に基づき以下の説明が行われた。

（医療秘書科）

- ・本年度の第1回教育課程編成委員会で提示したものとの変更点を説明する。

※名称変更等

（共通科目）

「医療法規」→「医療関連法規」、「医療メディエーション」→「医療メディエーション・レジリエンス」、「医師事務作業補助概論（仮称）」→「医師事務作業補助概論」、「ペン字」→「美文字演習」、「手話」→「手話コミュニケーション」、「業界業種研究発表」→「医療業界研究ゼミ」

（コース科目）

「病棟コミュニケーション実務」→「外来・病棟クラークコミュニケーション」、「予防医学」→「メディカルコミュニケーション」（医療コンシェルジュコースは本年度開講なし）

※新規追加

急遽、「美容医療コース」を新規に取り込むことになった。医療秘書科創設50周年記念事業の一つとして、今、幅広い年齢層の方から注目されている美容医療業界に興味のある学生を取り込んでいきたい。出口対策、授業への協力を含め大手の共立美容外科と提携した。カリキュラムは以下のとおり。

- ・「美容医療」：美容外科に特化した医療の知識を学ぶ。
- ・「カウンセリングスキル」：施術内容の説明、クロージングなどに対応するカウンセリングスキルを学ぶ。
- ・「セルフプロデュース」：メイク、ネイル、カラーコーディネートなどを自分で行うことにより自己肯定感を上げる。

（医療事務科）

- ・カリキュラムは2021年度と特に変更はない。
- ・1年制であり、デュアル実習を8月以降に取り込んでいくとなると、夏休みにも授業を行う形も考えながら時間割を作成している。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>今、自由診療が閉塞している状況なので、医療コンシェルジュコースは求められる部分だと認識している。カリキュラムの中に受付や総合案内の仕事を意識づけるような内容もあるのか。</p>	<p>コンシェルジュという名前がハードルが高かったのかもしれない。コース名の変更は考えていないが、次年度はロールモデルとなる卒業生を招いて、早い段階から意識づけていきたい。</p>

◎医療事務 I T 科・診療情報管理科・診療情報管理専攻科

○三宅学科長より、資料 7-③～⑤に基づき以下の説明が行われた。

(医療事務 I T 科)

- ・「コーディング演習 I」と「コーディング演習 II」は、内容を整理して一つにまとめ、「コーディング演習」とした。
- ・「医療サービスと品質マネジメント」「病院管理と診療報酬制度」は、「病院マネジメント I」「病院マネジメント II」に名称を変更した。
- ・ I T パスポートの取得を学科の目玉とするため、「 I T パスポート理論」「 I T パスポート演習」を新設した。
- ・「調剤事務演習」を将来の選択肢の一つとして復活させた。

(診療情報管理科)

- ・「コーディング演習 I～IV」を「コーディング演習 I～III」とした。管理士試験の出題内容の変化に対応させている。
- ・「D P C 概論」は半期から 1 年間通してやるように変更した。
- ・「医学用語実践」を通年にして、アプリで単語を覚えさせる方法で強化したいと考えている。
- ・「病院マネジメント」は、内容を整理して半期にまとめた。
- ・「医療情報技師概論 I～III」は、正規科目化して全員受講とする。内容を強化し、合格者を出せるよう注力していきたい。

(診療情報管理専攻科)

- ・ 2022 年度で最後になる。内容は前年度と変更はない。
- ・ 診療情報管理専攻科の分が、診療情報管理科の 3 年生に少し形を変えて入っている。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>HL7FHIRが入ってきて、業界では医療情報の標準化が言われている。IT科はITパスポートであって医療情報技師を、診療情報管理科は病院の中の情報を総合的に扱うという認識で合っているか。</p> <p>電子カルテについても政治的に力が入っている。専門学校に期待するところもあるので、どのようなカリキュラムにするかは重要だと思う。</p> <p>RPAも視覚的にプログラミングできるものが出てきているので、ITパスポートと並行してできないか。</p> <p>Excelと組み合わせてRPAをやることも検討していないか。</p>	<p>医療事務IT科はITパスポート、診療情報管理科は医療情報技師の取得を目指す形にはっきり分けている。</p> <p>ご意見として承った。</p> <p>ITパスポートについてはプログラミングに関するものはない。</p> <p>Excelは、マクロ、ピボットテーブルの部分をしっかりできるようにする段階かと思う。</p> <p>RPAに関しては、一部の教科の中で少し触れてもよいのではないかと認識しているが、なかなか進まない。</p>

○その他意見交換

質問・意見等	回答等
<p>2022年度の実習について、今は打診もできない状態だが、先生方のところの実習に関する情報があれば伺いたい。</p>	<p>コロナの状況によって判断するので、今は分からない。</p> <p>受入れに当たっては、ワクチン接種は最低ラインになるかと思う。</p> <p>デルタが収束したときに実習の受入れをスタートしたが、オミクロンでまた締めた。今後の状況次第だが、受入れは来年の後半かなという感じがする。</p> <p>医療現場も人材の確保のため実習やインターンを受け入れなければならないと認識している。</p>

<p>実習ができない可能性は考えておかなければならない。レポートと実体験とでは格差があり過ぎるので、Web などを利用して、学生が期待するものの半分でも得られるような工夫が必要だと思う。</p> <p>医療機関としては、退職者の状況を見てから求人をするので、そのときにはいい人材がいらないという状況もある。そのために早めにインターンシップを出してほしいということになるが、何かよい方法はないものか。</p> <p>人材派遣会社は、登録した人をすぐに割り当てるようなところがあるので、専門職を採用できないことが多い。学校で卒業生を斡旋していただければ、ぜひ活用したい。</p> <p>人材派遣会社を医療系でつくってほしいと率直に思う。</p> <p>DPC の様式で EF ファイルは活用されているのか。</p>	<p>ワクチンは3回打っておいたほうがよいと思う。</p> <p>東京都が発令するフェーズ、レベルによって病院が取るルールが決まってくる。</p> <p>ワクチンは、院内クラスターの発生を防止するためにも最優先だと思う。</p> <p>2020年度は教員が医療機関に出向いて、実習担当者にインタビューをした動画や、卒業生にインタビューをした動画を見せて、レポートをさせた。今後も引き続き検討していきたい。</p> <p>実習の代替授業と、実際に行って学ぶことは大きな差があるので、少しでも多くの学生を医療機関で実習させたい。</p> <p>求人はだんだん早まっているので、多くの学生から選択するには早く求人を出していただいたほうがよい。</p> <p>インターンシップは、期間を短くする方向に行っている。診療情報管理士を目指す者は2月の試験までは学業優先になるので、事実上インターンシップは難しい。</p> <p>本校では、既卒者でも求職者のリストに登録しているので、そちらから採用する選択肢もあり得ると思う。</p> <p>既卒者の求人に関するシステムを仕組みとして構築できればと思う。</p> <p>真剣に考えていきたい。</p> <p>診療情報管理科の3年生の「DPC実践」という授業の中で、前期に様式1やEFファイルを学び、後期で自分で作成して理解を深めるようにしている。</p>
---	--

様式から見て、このコードは違うという発見の仕方までやらせているか。

演習の中で、間違い探しのような問題を出している。まずは目視での確認で、データベースから探すところまではやっていない。